

平成 27 年度 第 2 回横浜市神大寺中央公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	平成 27 年 7 月 29 日 (水) 14 時 30 分～16 時 00 分
開 催 場 所	神奈川区役所本館 4 階第 2 会議室
出 席 者	相藤委員、中野委員、橋本委員、山根委員、吉田委員 (計 5 名)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	応募団体の面接審査は公開とするが、指定候補者及び次点候補者の選定審議については非公開とする。(傍聴者なし)
議 題	1 面接審査 (1 団体) 2 指定候補者選定審議
審 議 結 果	1 面接審査 (1 団体) 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ 2 指定候補者選定審議 横浜市神大寺中央公園こどもログハウスの候補者を、次のとおり選定した。 (1) 指定候補者は、評点 79.60 点 (合計点数 398 点) の「特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ」を選定した。
委 員 意 見 等	1 面接審査 (主な質疑応答) (1) 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ (委員) ログハウスで「お泊り会」を実施してほしいという利用者の要望を受け、「トワイライト講座」を実施したとあるが、趣旨が異なるのではないか。 (団体) 利用者の要望は、「泊まりたい」というよりも、「暗いログハウスを見たい」というものだったため、夜間の講座という形で対応した。 (委員) 小中学生が館内を走り回ったりすると、乳幼児が危険ではないか。 (団体) 事故を避けるため、乳幼児の母親たちに対して、小中学生のいない平日の午前中の利用をすすめている。 (委員) スタッフの年齢層を教えてください。 (団体) スタッフの年齢層は 30 代から 60 半ばまで。近年は男性のスタッフも増えている。 (委員) 子どもたちに対し、スタッフはどの程度の距離間で接しているのか。 (団体) 子どもたちの自由な遊びを尊重するため、危険なことがあれば注意する程度。イベント時には子どもたちの遊びを直接サポートする。 (委員) 地震等があった場合の緊急対応はどのようになっているのか。地震発生後の子どもたちの帰宅方法に関するマニュアルはあるのか。 (団体) 災害時にも迅速に対応できるよう、スタッフの代表が近隣の中丸小学校の地域防災拠点の訓練や、地域の防災訓練にも参加している。ログハウスのある神大寺中央公園は一時避難場所になっているので、仮設トイ

	<p>レも設置できる。子どもたちの帰宅方法に関する詳細なマニュアルはないので、今後整備していきたい。</p> <p>(委員) 管理運営責任者は常駐しているのか。</p> <p>(団体) 常駐はしていない。ただ、スタッフのうち1名をリーダーとしており、有事のときには近隣の地区センターの館長も駆けつける。</p> <p>(委員) 今後、施設の利用者を8000人増やすとしているが、具体的な計画を聞かせてほしい。</p> <p>(団体) 区内の他の区民利用施設との連携を強化し、魅力的なイベントを実施していくとともに、「安心かつ安全に遊べる場所」であることを地域にアピールしていく。</p> <p>(委員) 事業の企画は誰が行っているのか。</p> <p>(団体) 現場のスタッフが中心となり企画している。</p> <p>(委員) ホームページの更新が滞っているようだが。</p> <p>(団体) 今後は更新が滞らないよう改善していきたい。</p> <p>(委員) 遊具の点検は実施しているのか。</p> <p>(団体) 専門の業者が年に1度、定期点検を実施している。簡易点検は常時実施し、大きな修繕が必要となる場合には、区役所と協議して対応している。</p> <p>2 指定候補者選定審議</p> <p>(1) 応募団体の財務状況について吉田委員より説明。</p> <p>(2) 各委員より、評価が高かった点、課題とされた点などの講評があった。内容は選定結果報告書としてまとめる旨を委員に連絡した。</p>
そ の 他	本委員会における選定結果は、委員長から神奈川区長へ報告する。